

令和5年度産業動物（馬）講習会の開催報告

去る11月22日(水)に、苫小牧市日胆農業会館において、胆振獣医師会主催、北海道家畜畜産物衛生指導協会、全国公営競馬獣医師協会後援による令和5年度産業動物（馬）講習会が開催されました。講習会のテーマは「馬の運動器疾患」で、内容は以下の通りでした。

「競走馬の跛行診断における歩様解析ツール・Equinosisの活用」

ノーザンファーム 永原玲先生

「KINESIO®EQUINEの有効利用法の提案 ～国内外の実例紹介とこれからの可能性～」

HORSE TAPING 青野菜名先生

「運動器疾患における疼痛管理」

社台ホースクリニック 鈴木吏

「繫靭帯脚部炎に対する外科手術の試みおよびKissing Spineに対する手術成績」

NOSAI 高度家畜医療センター 宮越大輔先生

「CT画像診断・後肢の疾患を中心に」

社台ホースクリニック 山家崇史

「肘・肩関節疾患の診断と治療」

社台ホースクリニック 加藤史樹

「重種馬の整形外科疾患に対する関節鏡手術」

社台ホースクリニック 田上正明

新型コロナウイルス感染症予防に配慮して、昨年に引き続き参加人数を60人に制限した上で、現地での対面開催で行われました。馬の臨床獣医師にとって、運動器疾患、跛行診断の知識やテクニックのアップデートは生涯の課題です。運動器に関する多岐にわたる内容に対し、参加者との間で活発な質疑応答がなされました。当日の講演を記録しましたので、獣医師、獣医学生および馬関連団体等の方々を対象にご案内します。



QRコードまたは <https://forms.gle/rNVmd1iUhBjRqwih7>より視聴申し込みください。

お忙しい中に参加いただきました皆様、ご協力いただきました皆様に感謝いたします。来年も多くの方々に興味を持っていただく内容を企画いたしますので、よろしくお願いいたします。

(胆振支部 加藤史樹 記)